



指を切らずに キレイに「切ろう」!

登場人物紹介



ハジメ君 (中学2年生)
テレビで紹介されたロボットに心を奪われ、ロボットを作ろうと決意。近所に住む家庭教師のツクルさんに相談する。



ツクルさん (工学系大学2年生)
ロボットの勉強ために大学に通い、サークルもロボット研究部に所属。ハジメ君に、ロボット作りについて相談される。

ロボコンには 危険がいっぱい?



ハジメ君は今までロボットを作っていて、ケガをしたことはなかった?



たくさんあるよ。大きなケガじゃなかったけど、指を切ったりしたかな。ツクル兄ちゃんもあるよね?



僕も指の切り傷が多いよ。というわけで、修行編2回目は「切る」を勉強しよう。しっかり勉強してケガを防げるようにしようね。

「切る」ための工具!



たくさんの工具があるけど、これ全部「切る」ための工具なの?



そうだよ。切るものの種類や厚さ、大きさに合わせてふさわしい工具を使い分けるんだ。きれいに切れれば余計な加工が少なくてすむから、製作時間も短くなるんだよ。



なるほどね。じゃあ、くわしく工具を説明してください~。

名前: ハサミ (鉄)



説明: 薄手の紙、布などを切るもの。まっすぐ切るのには向かない。粘着テープ類を切るとノリがついて切れ味が悪くなるので、テフロン処理済みのものがおすすめ。



最初は「ハサミ」だ。普通の家にもあるし、工具というより文房具

だね。きちんとした形や長さに切るといふよりは、大体の大きさに切るのに使われる。切れ味の良いハサミは、両方の刃が吸い付くような感覚があるよ。



切れ味の良いハサミの歯に指を当てると、指の皮が切れるよ?



それは当たり前! 包丁に指を当てるのと同じことだよ。それから、ハサミに限らないけど、刃物を傷めないようにするには、むやみに硬いものを切らないのが一番だよ。例えば、ハサミで電線(ケーブル)を切るのはだめ。ちゃんと次に説明するニツパで切ること。



はい。何気なく使っている道具でもちゃんと使い方があるんだね。



次はニツパだ。ロボット作りには欠かせないね。次に説明するラジオペンチとセットで安く売られていることもあるけど、僕は1つで売られている少し高価なものを使っているよ。



安いニツパを買ったら、握るところのゴムカバーがずれて使いづらいよ...。失敗。